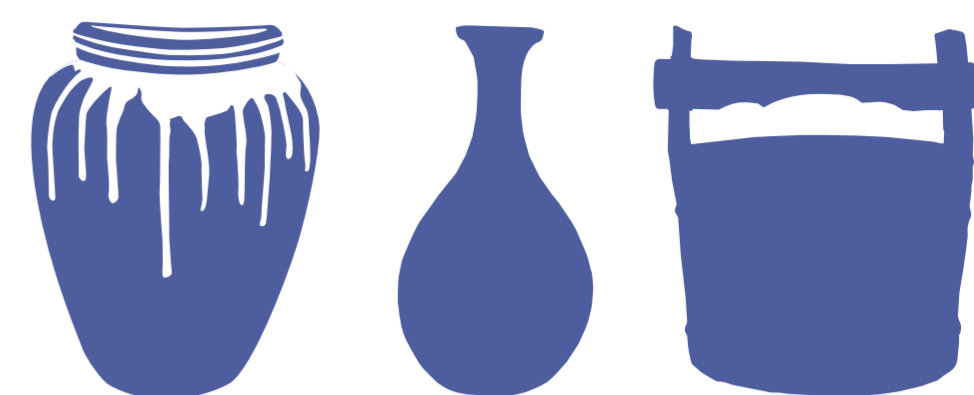


# ミュージアム講座のご案内



## 「須恵器から備前焼へ、 木村コレクション」

日時：**5月30日(土) 14:00-15:30**

参加無料

各回  
先着70名

講師：伊藤 晃さん (備前焼研究家)

場所：岡山シティミュージアム 4階講義室

参加申込：岡山シティミュージアム **Tel 086-898-3000**

※お申し込みは5月7日(木)からお電話で受付いたします。(10:00~18:00、休館日を除く)

※お申し込みは定員に達し次第、受付を終了いたします。

※講演会の終了時間は前後することがあります。

### 内 容

4世紀後半、朝鮮半島南部から伝わった須恵器は、5世紀初頭には西日本各地から東海地方まで拡大し、12世紀まで焼き続けられます。備前国でも5世紀初頭に伝わり、6世紀には邑久古窯跡群に伝わり、12世紀末まで焼かれます。

中世六古窯(備前・丹波・信楽・瀬戸・常滑・越前)の一つである備前焼は、12世紀末から備前市伊部地区を中心に焼き始められ、現代まで焼き続けられています。須恵器と備前焼の違いは、焼いている器種が大きく異なることです。中世(鎌倉・室町時代)には、青森から沖縄まで数千カ所の遺跡から、備前焼の色々な器種が出土しています。江戸時代には3つの大窯(西・南・北)で大量に焼かれています。

岡山シティミュージアム所蔵の古備前木村コレクションは、いつの時期に焼かれたものが多いのか検討してみたいと思います。